

理財部会長報告

会議名 第1回理財部会（オープン部会）

日時 2021年5月11日（火） 13:30～15:00

場所 パーティーギャラリーイヤタカ 2階 ボストン

出席者

- ・ 正副部会長6名、水澤専務理事
- ・ 理財部会員15名、他部会員30名 計52名

懇談

テーマ 今後の経済動向について

ゲスト 日本銀行秋田支店 支店長 村國 聡 氏

■世界経済と新型コロナウイルス感染症の動向

- ・ IMF予測によると、世界全体での経済成長率は2020年実績の前年比3.3%減少から、**2021年は6.0%の増加に転じ2022年も引き続き4.4%の増加となる見通し。**
また、企業の業況感については、**特に米国・ユーロ圏の製造業でDI値60以上への回復がみられる。**
- ・ ワクチン接種率は世界平均の対人口比5.53%に対し、最多の**イスラエルは60%超、英国・チリ・UAE・米国が30～40%台**で続く。新規感染者数は、米国ではピーク時の25万人から現在は5～6万人に減少したが、新興国は増加傾向にあり、特にインドでは爆発的な感染拡大が続いている。

■ 日本経済の先行き展望

- ・ 日本銀行 展望レポート(2021.4)による基本的見解では、当面の経済活動の水準は、対面型サービス部門を中心に、感染症の拡大前に比べ低めで推移するものの、**感染症の影響が徐々に和らいでいくもとで、外需の増加や緩和的な金融環境、政府の経済対策の効果にも支えられて回復していくとみられる。**

※先行きの見通しについては、**感染症の帰趨や、それが内外経済に与える影響によって変わり得るため不透明感が強い。**

■ 日本銀行の新型コロナ対応

- ・ 新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラムによる
企業等の資金繰り支援
- ・ 国債のさらなる積極的な買入れや米ドル資金供給オペ
拡充による金融市場の安定確保
- ・ E T F ・ J - R E I T の積極的な買入れ

※ 「消費者物価の前年比上昇率2%安定の目標」 実現のため

- ① 継続的な形で、金融緩和を継続するとともに、
- ② 情勢変化に対して、躊躇なく、機動的かつ効果的に対応
することが重要。